

2026 学校案内

中学生の皆さんへ



持続可能な社会発展を目指し、
グローバルに活躍する
次世代技術者を育成する



概要

高専は、中学卒業者を受け入れ、5年間の一貫教育により大学学部卒業者レベルまでの教育を行う学校です。英訳は「National Institute of Technology (KOSEN), Fukushima College」で、在校生は「生徒」ではなく大学と同様に「学生」と呼ばれ、卒業時には「準学士」の称号を得ることができます。

高専制度の大きな特色は、5年間の早期一貫教育の中で、実験・実習を重視し、理論と実践を兼ね備えた優れた専門技術者を育成する完成教育にあります。

このため、高専卒業生は産業界の各部門において、高い評価を受けており、例年就職率はほぼ100%となっています。

高専卒業後、更に勉学を続けたい学生には、大学入学共通テストを受けることなく、編入学試験により大学3年次へまたは、高専の専攻科へ進学する道が大きく開かれています。

本校への入学者は、のびのびとした学校生活の中で、時間をかけて将来の進路を決めることができます。また、15歳から20歳までの幅広い年齢層と県内外の各地区出身学生と交流する中で、豊かな人間性を育てることができます。

本校の学習・教育目標

- (A) 地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力を養うために、倫理・教養を身につける。
- (B) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を身につける。
- (C) 工学系科目ービジネス系科目の協働(シナジー)効果により、複眼的な視野を持って自ら工夫して新しい産業技術を創造できる能力を身につける。
- (D) イノベーションに即応するために、情報収集や自己学習を通して常に自己を啓発し、問題解決のみならず課題探究する能力を身につける。
- (E) モノづくりやシステムデザイン能力を養うことにより、創造的実践力を身につける。
- (F) 情報技術を活用して、グローバルなコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につける。

福島高専アドミッションポリシー (入学者受入方針)

アドミッションポリシー(入学者受入方針)は、本校の学習・教育目標を達成できる能力を持った人を入学させるための方針で、次のように定められています。

○準学士課程(本科)

・求める学生像 (全学科)

1. 基礎的学習内容を十分に理解し、自ら学ぼうとする人(知識・技能)
2. 自ら目標を立て、達成に向けて粘り強く努力する人(思考力・判断力・表現力)
3. あらゆる物事に関心を持ち、深く探究する人(思考力・判断力・表現力)
4. 創造的な「モノづくり」に強い興味を持っている人(主体性・協働)
5. しっかりしたモラルを持ち、まわりの人たちを尊重する人(主体性・協働)

※各学科の「求める学生像」については、各学科紹介欄をご覧ください。

・入学者選抜の基本方針

福島高専では以下の点を重視して、入学者の選抜を行います。

1. 中学校で学習する国語・社会・数学・理科・英語の学習内容を十分に理解していることを学力検査で評価します。
2. 中学校での成績評価が良好なことを調査書および推薦書で評価します。
3. 課題達成型推薦入試においては、モノづくりや課外活動などの課題に取り組み、顕著な結果を残していることを活動報告書で評価します。

学校生活のきまり

本校の主な生活指導方針は次の通りです。

【1】服装等

- 3年生以下は男女とも制服(正常寸法)を着用する。
- 4、5年生は異装を認める。
但し、校外研修や式典の場合は制服もしくはスーツを着用する。
- 1～3年生は不要な装飾品を身につけない。
- 1～3年生は頭髪を変色しない。

【2】喫煙・飲酒

- 20歳に達した学生であっても、校内(寮内含む)における喫煙・飲酒は一切禁止とする。

【3】車両通学等

- 3年生前期までは、運転免許取得を禁止する。
- 3年生後期は、許可制で運転免許を取得することができる。
- 4、5年生は、原付自転車及び自動二輪車(排気量125cc以下)ならびに学外に駐車場を確保した自動車に限り、車両通学を許可することがある。

入学時に必要な経費

区 分		金 額
入 学	学 料	84,600円
授 業	料 (年 額)	234,600円※
教 科	書 代	約 40,000円
教 具 ・ 教 材	(機 械 ・ 電 気 ・ 化 学 ・ 都 市)	約 30,000円
	(ビジネスコミュニケーション学科)	約 10,000円
諸 会 費 等	後 援 会 費 (入会金・年会費)	16,000円
	課 外 活 動 助 成 費 (年会費)	15,000円
	学 生 会 費 (入会金・年会費)	9,500円
	日 本 ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー 会 費	1,550円
合 計	(機 械 ・ 電 気 ・ 化 学 ・ 都 市)	約432,000円
	(ビジネスコミュニケーション学科)	約412,000円

※本科1～3年生には「高等学校等就学支援金」制度があります。詳しくは本校学生課学生支援係にお問い合わせください。

入学志願者数(推薦・学力・帰国子女)

学科(定員)	年度	2023		2024		2025	
		志願者	倍率	志願者	倍率	志願者	倍率
機 械 シ ス テ ム 工 学 科 (40)	(40)	46	1.2	50	1.3	55	1.4
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科 (40)	(40)	38	1.0	53	1.3	54	1.4
化 学 ・ バ イ オ 工 学 科 (40)	(40)	61	1.5	42	1.1	55	1.4
都 市 シ ス テ ム 工 学 科 (40)	(40)	53	1.3	51	1.3	46	1.2
ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科 (40)	(40)	47	1.2	60	1.5	62	1.6
計	(200)	245	1.2	256	1.3	272	1.4

※2018年度より帰国子女特別選抜を実施。

在学生数(令和7年4月1日現在)

学科 \ 学年		()内は(男・女)					
		1年	2年	3年	4年	5年	合 計
機械システム 工学科	41 (34・7)	43 (40・3)	38 (33・5)	37 (34・3)	36 (35・1)	195 (176・19)	
	41 (33・8)	44 (40・4)	39 (34・5)	36 (33・3)	36 (31・5)	196 (171・25)	
電気電子 システム工学科	41 (21・20)	38 (18・20)	44 (17・27)	42 (19・23)	39 (17・22)	204 (92・112)	
	41 (23・18)	42 (24・18)	43 (27・16)	39 (31・8)	41 (30・11)	206 (135・71)	
化学・バイオ 工学科	43 (14・29)	43 (15・28)	39 (19・20)	33 (8・25)	40 (10・30)	198 (66・132)	
	207 (125・82)	210 (137・73)	203 (130・73)	187 (125・62)	192 (123・69)	999 (640・359)	
合 計							

National Institute of Technology (KOSEN), Fukushima

機械システム工学科

求める学生像

機械システム工学科では次のような人の入学を期待しています。

- ① ロボット技術や機械の仕組みに興味があり、アイデアを形にしたい人
- ② 環境にやさしいエネルギー技術に関心のある人
- ③ モノづくりの知識と技術を身に付けて、将来、地域の発展に貢献したい人

機械を作る材料、機械の動き、動力・エネルギー、自動化、設計・製図および製作などについて勉強します。さらに、ロボット技術や原発の廃炉などについても学びます。特に、実験や実習を通しての実践的な学習と知識の習得を心がけています。4年生からは研究室に配属され、さらに高度な指導を受けながら自主的な研究や実験を行います。また、ITやIoTを活用したモノづくりの基礎学習も行い、次世代を担う実践的技術者の養成をしています。



【先輩からの学科紹介】

3年 高木 結衣 (たかぎ ゆい)
いわき市立大野中学校出身



機械システム工学科では、機械における専門的な知識を5年間のなかで学ぶことができます。1年生の実習では、プログラミングや工作機械の使い方の基礎を学んだり、電気自動車の組み立てや分解をしたりします。はじめから上手に実習を進めていくことは難しいですが、1人ではなく班活動やペア活動が基本となるので、お互いに助け合うことができます。

製図やレポートの作成も、授業に積極的に取り組んで知識を身に付けておけば、楽しみながら進めていけるとと思います。一緒に学習するクラスメイトからもたくさんの刺激をもらいながら、モノづくりにおけるアイデアを生み出せるかもしれません。

一般教科にくわえて専門教科の勉強も必要となるため大変ですが、普通高校と比べて自由な時間が多いので、毎日の時間を計画的に使えば、やりたいことに思いきり取り組むことができます。不安なことがあれば、学科の先輩や先生方に質問をしてみてください。

福島高専では、普段の学校生活もより楽しめる工夫もされています。毎日の時間を計画的に使って、私たちと一緒に充実した高専生活を送っていきましょう。

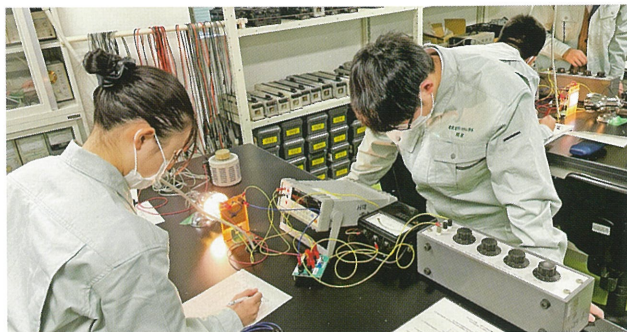
電気電子システム工学科

求める学生像

電気電子システム工学科では次のような人の入学を期待しています。

- ① ロボット制御技術、エネルギー技術、情報通信技術に興味があり、将来、その技術者として社会に貢献したい人
- ② 電気回路やコンピュータ・センサなどを駆使して、様々なシステムをつくりあげたい人
- ③ 電気・電子・情報について学んだ知識を応用して、自分のアイデアを形にしたい人
- ④ 電気電子技術をベースとして、農林水産業、サービス業など様々な業種に関心を持ち、これらの産業を活性化したいと考えている人

電気・電子・情報の技術を応用した新たなシステムを構築し、産業界の多様な問題を解決できるクリエイティブな技術者の育成をめざしています。そのため、1～3年生では広く電気・電子・情報の基礎科目を演習や実験を通して実践的に学習し、4年生からは、主体的な問題解決能力育成のため、創作実習、工学セミナー、卒業研究に多くの時間を与えています。また新たにロボットのソフト部門の制御技術や電力のベストミックス(有効活用技術)に関わる教科・演習等をカリキュラムに加え、これからの持続可能な社会を担う人材の育成をします。



【先輩からの学科紹介】

3年 西岡 祥太 (にしおか しょうた)
白河市立表郷中学校出身



電気電子システム工学科では、電気・電子・情報についての知識や技術を詳しく学ぶことができます。1年生から専門科目の授業があるため、電気に関する技術や職業に興味のある方にはお薦めの学科です。勉強や課題について不安を持たれている方もいらっしゃると思います。勉強でわからないところがあれば先生方、先輩方が優しく教えてくれますし、仲間同士で協力して乗り越えれば絆が深まり、充実した5年間を送れると思います。また、高専は休業期間が2か月近くあり長い

ため、自分の好きなことに打ち込んだり、興味のあることに挑戦したりと、学業と並行して趣味や興味を追求できるのも良いところだと感じます。私も入学当初は不安がありましたが、個性豊かな仲間と共に切磋琢磨し合うことでやりたいことが見つかり、楽しく充実した学校生活を送っています。普通高校では経験できない多彩な魅力があるこの福島高専で楽しい学校生活を送ってみませんか？

化学・バイオ工学科

求める学生像

化学・バイオ工学科では次のような人の入学を期待しています。

- ① 化学やバイオテクノロジーの知識と技術を身につけて、将来、その技術者として地域・社会に貢献したい人
- ② 地球に優しい化学技術や新素材をつくり、環境問題の解決、持続可能な社会の構築を目指したい人
- ③ 学んだ化学バイオ技術を、農林水産資源の生産・管理や有効活用に役立てたいと考える人

化学・バイオ工学科では、わたしたちが暮らす社会の物質的な基盤を支える原理としての化学と、わたしたちの生存環境の持続的な保全や改善の基礎としてのバイオテクノロジーを学びます。座学とそれに並行する実験・実習を通じ皆さんが将来的に科学技術者として活躍するために必要な素養を段階的に身につけられるようなカリキュラムが用意されています。集大成の卒業研究では未来の教科書の内容になるような新発見も夢ではありません。化学・バイオ工学科でわたしたちとともに学び、よりよい人類社会をぜひ創り出しましょう。



【先輩からの学科紹介】

3年 大槌 朝日 (おおさき あさひ)
いわき市立好間中学校出身



化学・バイオ工学科では、化学や生物学に関わる基礎から応用的な知識、そしてそれらを使った技術を学ぶことができます。高専には、いろいろな分野に特化した先生方がいらっしゃいます。そのため、一般教科に限らず専門的な教科でも分かりやすく、そして深く学ぶことができ、分からないことがあってもすぐに質問することができます。また、1年生の時から専門的な器具や機械を使った実験があり、座学では得られないような知識や経験、そして実践的な技術を身に着けることができます。実験ごとに予習やレポートがあり大変なことも多いですが、その分計画性がついたり、達成感があったりなど、得られることも多いです。そして何より、早いうちから自分の興味があることを専門的に学べ、追求できるのは高専の良いところだと思います。

高専は他の高校とは違うため不安に思う人もいるかもしれませんが、同じ目標を持った人たちが集まっており、学習環境も整っているのので、安心して自分の勉強に励むことができます。

皆さんもぜひ、私たちと充実した高専生活を送りましょう。

都市システム工学科

求める学生像

都市システム工学科では次のような人の入学を期待しています。

- ① 自然環境と調和した建設技術に興味を持っている人
- ② 道路・橋・港など建設構造物の維持管理に興味を持っている人
- ③ 災害に負けない安全なまちづくりに貢献したい人

都市システム工学科は、自然環境に配慮した道路や橋・港湾などの整備ができるとともに、古くなった道路や橋の維持管理や災害に強いまちづくりができる技術者(まちのお医者さん)の育成を目指しています。

そのために、毎日多くの人が利用する様々な構造物の計画・設計・施工・維持管理に必要な力学系科目や、自然災害を最小限に抑えるために必要な防災・減災系の科目を学び、多くの知識や技術を時間をかけてゆっくりと確実に身に付けていきます。

また、実験・実習や校外での現場見学などを重視したカリキュラムになっています。

在学中は技術士第一次試験、1級または2級土木施工管理技術検定・第一次検定を受験することができ、また必要な科目を修了し、卒業後に申請することにより測量士補、防災士の資格を、さらに二級建築士の受験資格を得ることもできます。



【先輩からの学科紹介】

3年 七海 杏太郎 (ななうみ きょうたろう)
郡山市立安積中学校出身



都市システム工学科では、土木工学・建築技術・防災工学・環境工学などの専門知識を学ぶことができます。初学年時には建造物に使用する材料の性質やその用途を学ぶ「材料学」や堤防、住宅の設計図を作成する「製図法」などを学びます。また数学、物理などの理系を中心とした一般科目も学ぶため普通高校よりも幅広い知識を習得できます。

土木や建築技術などの技術力を生かしたいという将来像を持っている人は自身のスキルアップに繋がる知識の習得が可能です。都市科に入学することで新たに視野が広がり充実した高専生活を送ることができます。私は郡山出身で、寮に入寮しています。親元から離れての生活は大変ですが、自立でき、精神面も鍛えられます。また、部活動も充実しています。私は剣道部に所属して気分転換をしながら高専生活を満喫しています！都市科は学生のみならず先生方の雰囲気がよく楽しく技術力を向上できる学科だと思います！みなさんも都市科で楽しい学校生活を送ってみませんか？

主な施設



食堂



売店



ひだまりカフェ



学生保健センター



磐陽テックガレージ



図書館(閲覧室)



磐陽寮(イベント食)

ビジネスコミュニケーション学科

求める学生像

ビジネスコミュニケーション学科では次のような人の入学を期待しています。

- ① 社会・経済のしくみや動きに広く関心のある人
- ② 外国語によるコミュニケーション能力を高めて、グローバルに活躍したい人
- ③ 情報リテラシーを身につけて、高度情報化社会で活躍したい人
- ④ 地球環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献したい人

グローバル化の進展により多様な価値観を持つ人とコミュニケーションできる人材が求められています。ビジコミでは、「英語」「経営」「情報」「経済」「会計」「数理」「人文」といった7つの領域を幅広く学びます。高学年になると、これらの中から自分がより深く学びたい科目を選択し、専門的な知識を深めていきます。卒業後は、企業や自治体、国など様々な機関でグローバルに活躍できる人材としての道が開かれます。また、卒業生の約半数が大学に3年次編入し、興味のある分野についてさらに専門性を高めることを目指しています。ビジコミでは、学生ひとりひとりが自身の可能性を無限大に引き出すための支援を行っています。



【先輩からの学科紹介】

3年 **大竹 頼人** (おおたけ らいと)
いわき市立泉中学校出身

ビジネスコミュニケーション学科は、文系と言いつても理系科目も学べるという全国の高専を見てとても珍しい学科で、英語や経営、情報や人文といった幅広い分野を学習することができま

す。特に英語の授業は多くあり、英語で学ぶ授業もあるため、ほかの学科に比べてより高いスキルを身に付けることができます。ビジコミの強みはどの授業も汎用性が高く、そして幅広く学べるためどこに行っても役に立つスキルを多く身に付けることができます。

もう一つの強みは留学制度が充実していることです。高専は夏休みがとて

ても長く、長期休暇を使って留学することもできます。海外での経験は人生で役に立つこと間違いありません。高専はほかの学校とは学習面でも生活面でも違うことが多く、大変に思

うかもしれません。しかし、違うからこそいいところもここにはたくさんあります！大変に思うこと以上の魅力があります！ぜひ皆さんもビジコミで一緒に楽しみましょ



就職

文部科学省が令和6年4月1日現在で調査した令和5年度の就職率は、大学98.1%、短期大学97.4%、高等専門学校では100%です。

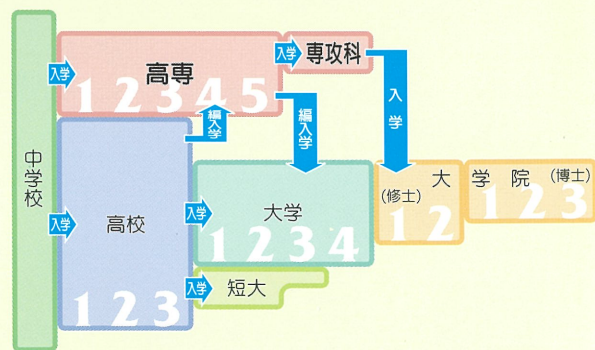
本校には、令和6年度は延べ7,515の企業から求人があり、就職希望者89人に対する求人倍率は約84倍で、就職率はほぼ100%となっています。

編入学

大学への道が大きく開けています。

高専卒業後、更に深く高度な勉強をしたい学生のために、大学の3年に編入する道が開かれています。高校からの大学受験とは異なり、各大学が独自に受験日を決めているため、複数の大学を受験できます。

本校における、令和6年度の大学等進学希望者は92名で、そのほとんどが国立大学に進学しています。昨年度、本校の大学等への進学率は卒業生全体の約50%です。



福島高専専攻科

高専卒業者を対象にさらに高度な教育、研究が行える2年課程の専攻科が設置されています。一定の要件を満たし修了すると、大学学部卒業と同様に「学士」の取得が可能です。令和7年度は産業技術システム工学専攻に16名、ビジネスコミュニケーション学専攻に4名が入学しました。

卒業生の進路状況

過去5年間の大学等編入学状況 ※入学者数

国立大学		()内は女子内数				
進学先	卒業年度	2020	2021	2022	2023	2024
北海道大学		1				1
小樽商科大学		1			1	
室蘭工業大学					1	
北見工業大学				1(1)		
弘前大学			1			
岩手大学		1(1)		1(1)		
東北大学		3	3	1	1	1
秋田大学		1	1	1		
山形大学			2	3(2)	3(3)	
福島大学		3	1	7(1)	4(2)	2(1)
茨城大学		5	4(2)	6(1)	4	2
筑波大学		5(4)	5(2)	5(3)	2	2(1)
宇都宮大学		5(3)	1	4(2)	4(1)	6(2)
埼玉大学						1
千葉大学		6(2)	3	3	2(1)	2
東京農工大学		3	2(1)	4(1)	2(1)	1
東京工業大学		1(1)	1			
東京海洋大学		1(1)				1(1)
お茶の水女子大学			2(2)		2(2)	
電気通信大学		2	1	1	3(2)	
横浜国立大学		1	1	1	3	2
山梨大学						1
群馬大学		1		1	2	1(1)
新潟大学		2(1)	4(1)	1(1)	2(1)	1
長岡技術科学大学		7	11(2)	20(4)	7(1)	14(1)
信州大学		1		1	1	
金沢大学						1
福井大学				2	1	1
岐阜大学			1	1	1	1(1)
静岡大学				1(1)	2	
名古屋大学		1(1)			1(1)	
豊橋技術科学大学		5	3	4(1)	2	8(2)
三重大学				2(1)		
滋賀大学		1(1)		1	2(1)	
大阪大学						1(1)
神戸大学			2(2)	1(1)	1(1)	2(2)
奈良女子大学						3(3)
和歌山大学		1(1)				
島根大学				1	2	
岡山大学						1(1)
広島大学			1	2(2)	1	1
山口大学				1		
香川大学						1
愛媛大学		1				
高知大学			1(1)		1	
九州大学		2(2)	2(1)	1	1	1(1)
九州工業大学						1
熊本大学						1
琉球大学			1			
計		61(18)	54(14)	78(23)	59(17)	61(18)

令和6年度卒業生の就職先

機械システム工学科

アルプスアルパイン㈱、(一社) ONE福島、ENEOS㈱、DMG森精機㈱、NOK㈱、オリックス・ファシリティーズ㈱、㈱クレハ、㈱JERA(2名)、㈱デンソー、三洋化成工業㈱、常盤共同火力㈱、東京ガスエンジニアリングソリューションズ㈱、富士フィルム㈱、三菱ケミカルアクア・ソリューションズ㈱、三菱電機ビルソリューションズ㈱、雪印メグミルク㈱、ユニ・チャームプロダクツ㈱、(国研)日本原子力研究開発機構

【19名】

電気電子システム工学科

CTCシステムマネジメント㈱、CTCテクノロジー㈱、JX金属㈱、ウナルステクノロジー㈱、㈱TBSアクト、㈱エヌ・ティ・ティエムイー、㈱シグマ、㈱日立ハイシステム21、セコムトラストシステムズ㈱、東京電設サービス㈱、東京電力ホールディングス㈱(3名)、トーテックアメニティ㈱、ネクシオン㈱、ピーネックステクノロジー㈱、横河ソリューションサービス㈱、リニューアブル・ジャパン㈱(2名)

【19名】

化学・バイオ工学科

あずか製薬㈱、インターナショナルケミカルエンティティー・ジャパン㈱、㈱浮間化学研究所、大阪ガスネットワーク㈱、㈱クレハ、堺化学工業㈱、昭和産業㈱船橋工場、成和化学工業㈱、東レ㈱、第一三共㈱(6名)、ファイントウデイングダストリー㈱、富士フィルムワコーケミカル㈱、朋和産業㈱、三井金属鉱業㈱(2名)

【20名】

都市システム工学科

JR東日本コンサルタンツ㈱、鹿島建設㈱技術研究所、㈱大林組、㈱ガイマックス、㈱復建技術コンサルタント(2名)、㈱フジタ、㈱東日本建設コンサルタント、五洋建設㈱、清水建設㈱、電源開発㈱、東京水道㈱(2名)、東北電力㈱、日本ファブテック㈱、東日本高速道路㈱、森トラスト・ビルマネジメント㈱、いわき市役所

【18名】

ビジネスコミュニケーション学科

JX金属㈱、NOK㈱、エクシオグループ㈱、㈱LOCO、㈱エヌ・ティ・ティ エムイー、㈱ディ・ボップス、㈱ネットブレインズ、㈱東日本計算センター、カルビー㈱、キヤノンアネルバ㈱、税理士法人常陽経営、東京ガスネットワーク㈱、日本ビジネスシステムズ㈱

【13名】

公立大学		()内は女子内数				
進学先	卒業年度	2020	2021	2022	2023	2024
東京都立大学		1	2	2	1(1)	1(1)
長野大学		1(1)			1(1)	
福岡県立大学		1(1)				
計		3(2)	2	2	2(2)	1(1)

私立大学		()内は女子内数				
進学先	卒業年度	2020	2021	2022	2023	2024
東北芸術工科大学			1(1)			1
医療創生大学						1
日本大学					3	
東京理科大学					1	1(1)
明治学院大学		1			1	
中央大学			1			
東京都市大学			2(1)		1(1)	
駒澤大学				2(1)		
東海大学				1(1)		
創価大学				1(1)		
東京国際工科専門職大学				1		
埼玉工業大学				1		
千葉工業大学			1	1(1)	1	4
千葉商科大学		1(1)				
鎌倉女子大学				1(1)		
関西外国語大学		1(1)				
近畿大学						1
大阪商業大学						1
大阪芸術大学						1
計		3(2)	5(2)	8(5)	7(1)	10(1)

高等専門学校		()内は女子内数				
進学先	卒業年度	2020	2021	2022	2023	2024
福島高専専攻科		26(6)	26(10)	20(8)	23(10)	20(9)
計		26(6)	26(10)	20(8)	23(10)	20(9)

卒業年度	2020	2021	2022	2023	2024
年度別大学等編入学者の計	93(28)	87(26)	108(36)	91(30)	92(29)



若葉寮(女子寮)



第1グラウンド

学校行事

本校では年間を通じおよそ次のような行事があります。

- 4月 入学式・始業式
定期健康診断
開校記念日
- 5月 前期中間試験
- 6月 前期中間試験
学級懇談会
- 7月 東北地区高専体育大会
前期期末試験
- 8月 夏季休業
全国高専体育大会
- 9月 校内体育大会
- 10月 保護者個別面談会
全国高専プログラミングコンテスト
高専ロボットコンテスト東北大会
- 11月 磐陽祭(文化祭)
後期中間試験
高専ロボットコンテスト全国大会
- 12月 全国高専デザインコンペティション
学生と学校との懇談会
冬季休業
- 1月 入学試験(推薦)
全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
- 2月 後期期末試験
入学試験(学力・帰国子女)
- 3月 終業式
修了証書授与式・卒業証書授与式
学年末休業



課外活動

本校には次のような部、サークルがあります。活動を通して多くの人々と交流することにより、豊かな人間性を育成します。

体育部
陸上競技部
バスケットボール部
バレーボール部
ソフトテニス部
テニス部
卓球部
柔道部
剣道部
サッカー部
硬式野球部
水泳部
山岳部
空手道部
サイクリング部
ラグビー部
バドミントン部
弓道部
ストリートダンス部

文化部
天文部
写真部
無線通信部
吹奏楽部
美術部
将棋部
茶華道部
演劇部

研究部
ロボット技術研究会
エネルギー研究会
ソフトウェア研究会
都市デザイン研究会
ESS&ESD研究会

サークル
分子生物学愛好会
カバディ愛好会
鐵道愛好会
居合道サークル
モノづくりサークル
eスポーツ愛好会
テーブルゲーム愛好会



陸上競技部



剣道部



卓球部



柔道部



ストリートダンス部



将棋部



美術部



茶華道部



鐵道愛好会



eスポーツ愛好会



ロボット技術研究会

福島高専に入学する7つのメリット!!

1. 就職に強く、企業では「即戦力」に!
2. 大学や大学院へ進学もできる!
3. 学位取得までの学費が安い!
4. 工学のみならず、経営学も学べる!
5. 企業の社長も夢ではない!
6. グローバルで、留学のチャンスあり!
7. 寮完備で、離れて暮らすご両親も安心!

苦手科目もバッチリサポート!

低学年生には、高専における基礎科目(数学・物理・化学)を苦手とする学生も多くいます。このような学生には、学内に設置した「学生学習センター」がしっかりサポートします。学生個々の学力や学習習慣を分析し、その結果にあわせたサポートを行うことで、学生の基礎科目の学力向上と苦手意識を克服していきます。



さらに詳しく知りたい方は!
福島高専 検索

学校案内図



独立行政法人 国立高等専門学校機構

福島工業高等専門学校

学生課入試係

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL(0246)46-0721 FAX(0246)46-0742
URL <https://www.fukushima-nct.ac.jp/>

入学者募集
に関する
問い合わせ先



(QRコード:福島高専入試情報ページへ)

令和8年度入学者募集概要

募集人員

機械システム工学科	各40人 (うち、課題達成型推薦5人、一般推薦15人)
電気電子システム工学科	
化学・バイオ工学科	
都市システム工学科	
ビジネスコミュニケーション学科	計 200人

本校はWEB出願を採用しています。

推薦による選抜

面接日 令和8年1月10日(土)
面接会場 福島工業高等専門学校
内定通知日 令和8年1月21日(水)

追試験

面接日 令和8年1月17日(土)
面接会場 福島工業高等専門学校
内定通知日 令和8年1月27日(火)

学力による選抜

学力検査日 令和8年2月8日(日)
検査科目 国語・社会・数学・理科・英語
検査会場 いわき会場 福島工業高等専門学校
郡山会場 郡山女子大学

追試験

学力検査日 令和8年2月15日(日)
検査会場 福島工業高等専門学校

帰国子女特別選抜

学力検査日 令和8年2月8日(日)
検査科目 国語・数学・理科・英語・面接
検査会場 福島工業高等専門学校

追試験

学力検査日 令和8年2月15日(日)
検査会場 福島工業高等専門学校

合格発表日

令和8年2月18日(水)

学力追試験

令和8年2月24日(火)

【詳細は入学者募集要項をご確認ください】

各種制度

入学科および授業料免除制度

(1)入学科の免除

入学前の1年以内に、入学する者の学資を主として負担している者(保護者等)が、死亡または風水害などの災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合、申請により入学料が免除される制度です。

(2)授業料の免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料全額または半額が免除される制度があります。

また、令和2年4月より、日本学生支援機構給付奨学金と授業料減免がセットとなった、高等教育の修学支援制度がスタートしました。

本科4年生以上で、経済的理由による減免を希望する学生は、本制度に申請してください。(春と秋の年2回募集があります。)

奨学金制度

経済的理由で修学が困難な優れた学生には、申請により日本学生支援機構のほか民間団体及び市町村などから奨学金が給付・貸与される制度があります。詳細については、各団体のホームページ等をご確認下さい。